

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	防火水槽事業			
予算科目	9 款 1 項 3 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	危機管理課	電話番号(内線):	982-0119
記入者情報	所属長:	泉 仁	担当責任者:	岡田 孝弘
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】 平成 18 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等	消防法第20条第1項、消防水利の基準			
事業の目的	消防署、消防団が消火活動に使用する消火栓、防火水槽の維持管理及び、放水設備の整備。			
事業の内容	既設消防水利の修繕及び新設。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	7,777	2,079	542	1,260
	人件費	7,728	1,034	556	1,034
	合計	0	3,113	1,098	2,294
人件費 内訳	人工数	0.95	0.13	0.07	0.13
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	7,728	1,034	556	1,034
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	15,505	3,113	1,098	2,294

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
消防水利維持	基	959	968	959	959
防火水槽・消火栓の修繕	基	5	8	4	5
消火栓・防火水槽新設	基	3	0	0	0
放水設備設置	箇所	2	6	1	1

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		9,558	4,098	9,558	4,098	

成果指標				
成果指標	狭隘地区、遠隔地に放水設備を設置する。(目標)6か所 (実績)2か所			
指標設定の考え方	火災発生時に初期消火を行うことで被害を最小限に収めるため、放水設備を設置することで、住みよいまちづくりが構築されている。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	9558	2079	9558	0
実 績	7777	1260	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消防水利の設置や維持に関しては、緊急時に常時使用できる状態でなければならない。突発的な漏水改修にも速やかに対処すべきであるとともに、水利充足率に基づいた整備を着実に進めていく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	消火栓や防火水槽の設置については、受益戸数、設置場所などを検討し費用対効果が図れるよう努める。今後も緊急時に備え、水利充足率に基づいた整備を進めていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	